

EU Indicators

欧州経済指標コメント：11月英国消費者物価

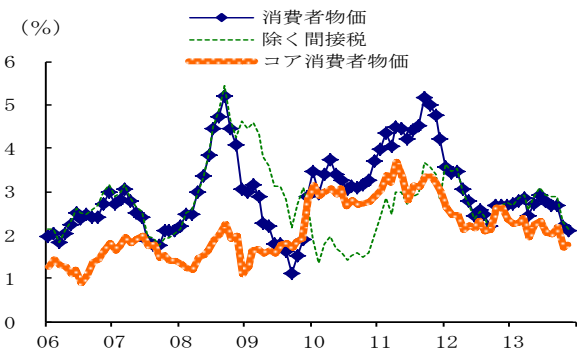
発表日：2013年12月18日(水)

～物価目標達成の日も近し？～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

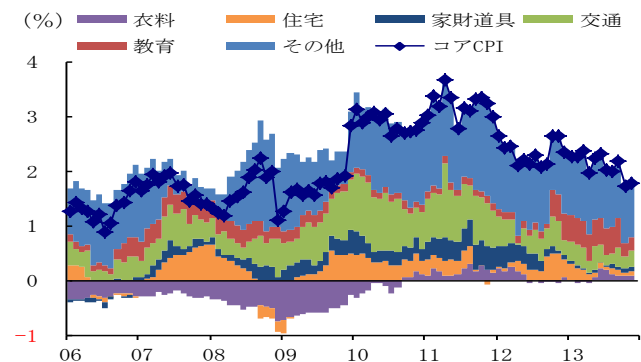
- 17日に発表された11月の英国の消費者物価は前年比+2.1%と前月（同+2.2%）から上昇率が縮小。2009年11月以来の伸び率に縮小し、BOEの物価目標の2%にさらに近づいた。内訳は、コア物価（食料・タバコ・アルコール・エネルギーを除く）の上昇率がやや加速（前月：同+1.7%→今月：同+1.8%）した一方で、食料品（同+3.9%→同+2.8%）とエネルギー価格（同+2.2%→同+1.6%）の上昇率が縮小し、全体の計数を押し下げた。
- 11月中の家庭用燃料の値上げは今回の計数に反映されていない模様で、12月の物価計数の押し上げ要因となる見込み。ただ、英国政府は11月末の秋季財政演説で、電力・ガス会社に対して2015年の総選挙まで電気・ガス料金の値上げ凍結を要請。一部会社は応じる構えを示唆しており、エネルギー価格要因で消費者物価が大幅に押し上げられる可能性は遠退いた。
- コア物価の構成品目の中では、ガソリン代を除く輸送費、教養・娯楽が主な上押し要因となっている。コア物価はこれまで傾向的に上昇率が縮小してきたが、このところの力強い景気回復を受けて、縮小トレンドに歯止めが掛かってきた可能性がある。ただ、雇用情勢の改善の割に今のところ目立った賃上げ圧力はみられず、コア物価の安定基調が早期に崩れる兆しはみられない。

■英国：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・タバコ・アルコール・エネルギー除く
 出所：英統計局

■英国：コア消費者物価の要因分解（前年比）



出所：英統計局

■英国の消費者物価（%）

| | | 2012 | | | | 2013 | | | | | | | |
|---------|-------|------|-----|------|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|
| | | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| 消費者物価 | (前期比) | 1.2 | 0.5 | 0.7 | 0.3 | 0.2 | 0.2 | -0.2 | -0.0 | 0.4 | 0.4 | 0.1 | 0.1 |
| | (前年比) | 2.7 | 2.8 | 2.7 | 2.7 | 2.4 | 2.7 | 2.9 | 2.8 | 2.7 | 2.7 | 2.2 | 2.1 |
| コア消費者物価 | (前期比) | 2.5 | 2.3 | 2.2 | 2.1 | 2.0 | 2.2 | 2.3 | 2.0 | 2.0 | 2.2 | 1.7 | 1.8 |
| | (前年比) | 3.7 | 3.9 | 4.2 | 4.1 | 4.6 | 4.3 | 3.8 | 3.9 | 4.1 | 4.3 | 3.9 | 2.8 |
| 食料品 | (前年比) | 3.7 | 3.9 | 4.2 | 4.1 | 4.6 | 4.3 | 3.8 | 3.9 | 4.1 | 4.3 | 3.9 | 2.8 |
| アルコール | (前年比) | 2.0 | 3.5 | 3.3 | 4.0 | 2.5 | 3.4 | 4.2 | 4.9 | 4.0 | 3.0 | 3.1 | 3.1 |
| タバコ | (前年比) | 9.0 | 9.4 | 7.6 | 6.8 | 7.4 | 7.7 | 7.5 | 6.7 | 6.9 | 6.6 | 6.5 | 7.4 |
| エネルギー | (前年比) | 1.0 | 3.4 | 3.2 | 4.6 | 2.2 | 2.7 | 4.8 | 5.6 | 4.8 | 3.4 | 2.2 | 1.6 |
| 住宅用燃料 | (前年比) | 1.0 | 6.1 | 7.7 | 7.9 | 7.5 | 7.6 | 8.0 | 8.2 | 7.8 | 7.7 | 7.7 | 6.0 |
| 自動車燃料 | (前年比) | 1.1 | 0.0 | -1.9 | 0.6 | -3.7 | -2.9 | 1.0 | 2.4 | 1.3 | -1.6 | -4.2 | -3.6 |

注：消費者物価の前期比は季節調整前。コア消費者物価は食料・アルコール・タバコ・エネルギーを除く。出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。